

安塚区地域協議会だより

発行日：令和5年9月25日

発行人：安塚区地域協議会 会長 松苗 正二

第36号

ごあいさつ

安塚区地域協議会

会長 松苗 正二

少雪のため、今年の水不足で農作物が心配であると、春に発行した地域協議会だ



よりも記しましたが、農繁期に必要なまとまった降雨は、梅雨明け前の7月16日(日)以降無く、農作物の被害は甚大で、例年の3分の1の収量になる方もおられるようです。市等が行う対策については、費用負担のみならず、減収に対する配慮も検討いただき、農家の方の負担軽減を望みたいと思います。

さて、地域協議会では、住民の皆様のお声を聴き、より良い安塚にするべく、令和3年から、「住みやすい安塚の在り方について」というテーマで、自主的審議事項に取

り組んでまいりました。

令和4年には、住民の皆様を対象としたアンケートを実施しました。大変多くの方からご回答いただき、改めて感謝申し上げます。

アンケートや各種団体等との意見交換会をとおして、多くの方が、リバーサイドロード(市道松崎安塚和田線)に関心を持ち、整備と管理、情報発信の不足を感じておられることがわかりました。

安塚町時代の思いと県内外に誇れる桜並木のあるリバーサイドロードの整備が十分に行き届いていない現状に対する愁いが寄せられたことを踏まえ、地域協議会として、リバーサイドロードに関する検討を優先的に進めるべきと決定し、審議を進めてまいりました。

審議を進めた結果、住民にとって住みやすく、市内外の人にとっても訪れたいと思える地域を実現するためには、リバーサイドロードを安塚町時代のころのように、いつでも気軽に散策のできる状態に戻すことが先決であると考えました。

最終的には、安全で良好な状態を実現するため、歩道の定期的な清掃や花壇の修繕等に取り組んでほしい旨の意見をまとめた意見書を作成し、先日、市へ提出いたしました。

今後は、整備されたリバーサイドロードを活用し、地域に賑わいを生み出す方策を住民の皆様とともに考えていきたいと思っております。地域協議会だけでなく、NPO雪のふるさと安塚をはじめとする関係団体等とも意見を共有し、皆様のご意見に沿えるよう、検討を重ねてまいります。

最後になりますが、自主的審議事項の審議を進めるにあたり、地域協議会に対してご理解とご協力を賜り、大変ありがとうございます。



自主的審議事項

「住みやすい安塚 の在り方について」

地域協議会では、令和3年12月から、自主的審議事項「住みやすい安塚の在り方について」の取組を開始しました。これは、人口減少や少子高齢化が進行する中で、安塚区が抱える課題とその改善策を検討し、住みやすい安塚の実現につなげることを目的とするものです。

取組の一環として、中学生以上の住民を対象としたアンケートや各種団体等との意見交換会を実施しました。

それらの取組を踏まえ、自主的審議事項の方向性を検討した結果、住民が愛着や誇りを持ち、関心が高いリバーサイドロードについて、今後の整備や管理に関する意見書の提出に向けた検討を進めることに決定しました。

その後、意見書の内容に関する検討を重ね、先日、意見書を市へ

提出しました。

意見書の内容は、現在市が行っている管理業務委託を次年度以降も継続するとともに、歩道の定期的な清掃や花壇の修繕等をはじめとする危険箇所改善に向けた検討を求めるものです。

今後は、整備実施後のリバーサイドロードの一層の利活用に向けて、関係団体等の皆様と意見を共有しながら、検討を進めていきたいと考えています。

次頁に市へ提出した意見書を掲載しますので、ぜひご覧ください。



令和5年7月 地域協議会委員による現地確認の様子

自主的審議事項の取組経過

時期	内容	備考
令和3年12月	自主的審議事項の審議開始	
令和4年1月～3月	アンケート実施に向けた検討	
令和4年4月	アンケート実施	中学生以上の安塚区住民を対象
令和4年5月～6月	アンケート集計作業	アンケート配布数1,821 回収数1,482 回収率81.38%
令和4年8月～9月	各種団体等との意見交換会	アンケート結果を参考に意見交換会を開催（4区分） 区分1：町内会長・自治会長 区分2：区内官公庁・企業等 区分3：区内活動団体等 区分4：安塚中学校・高田高等学校安塚分校生徒
令和4年10月～ 令和5年4月	アンケート及び意見交換会の結果を基に方向性を検討	
令和5年5月	地域住民が愛着や誇りを持ち、関心が高いリバーサイドロードについて、今後の整備や管理に関する意見書の提出に向けた検討を進めることを決定	
令和5年6月～8月	意見書の内容を検討	
令和5年9月	意見書を提出	

令和5年9月5日

上越市長 中川 幹太 様

安塚区地域協議会
会長 松苗 正二

リバーサイドロードの整備と管理の促進について（意見書）

このことについて、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、下記のとおり当協議会の意見を取りまとめましたので、提出いたします。

記

リバーサイドロード（市道松崎安塚和田線）は、安塚区松崎から和田まで全長約6キロメートルの間、約500本の桜並木が続く、安塚区の主要な観光スポットの一つであり、地域住民の憩いの場でもあります。春は桜、秋は柳葉ひまわりが咲き誇り、地域の団体の主催によるイベントが開催されるなど、市内外からも大変多くの方が訪れています。

整備については、市道の維持管理として、業者委託による草刈りや歩道の路面清掃、桜の枝折れ回収等が実施されています。また、地域住民も市道の一部区間で自主的に草刈りを行っているほか、桜の時期にあわせた提灯の設置等の取り組みを行っております。

当協議会では、令和3年12月に「住みやすい安塚の在り方について」というテーマで自主的審議事項の審議を開始し、これまで地域住民を対象としたアンケートや各種団体との意見交換等も実施しながら、地域が抱える課題とその改善に向けた検討を重ねてまいりました。

その結果、地域住民の皆様が、リバーサイドロードを安塚区の大きな魅力・宝の一つとして捉え、愛着を持っている一方、現在市が行っている整備と維持管理が行き届いていない部分があり、その改善を強く望んでいる声を確認することができました。

地域住民にとって住みやすく、市内外の人にとっても訪れたいと思える地域を実現するためには、本リバーサイドロードを安全、良好な状態とすることが何よりも必要です。

また、私たち地域住民は、関係団体を中心に連携を図りながら、引き続き整備や利活用に向けての取り組みに携わるとともに、今後の住民の機運醸成にも取り組みたいと考えております。

つきましては、リバーサイドロードの整備促進のため、市として、現行の街路樹等管理業務委託を次年度以降も継続するとともに、次の事項について、実現に向けた検討をお願いいたします。

また、整備等実施後の利活用方法等について、当協議会で検討中のアイデアをまとめたものを添付しますので、あわせてご覧ください。（参考資料）

リバーサイドロードの危険箇所の改善等について

●インターロッキングの不陸箇所の修繕

インターロッキングの不陸が発生し、歩行時やランニング等で使用する際に転倒等の危険があるため、修繕を求めます。

●インターロッキングの苔の除去

現在も業者委託により年2回歩道の路面清掃が実施されていますが、目地に苔が溜まるなど、上記と同様の恐れがあるため、清掃方法の見直しや清掃回数の追加を求めます。

●安塚中学校付近ガードレール（歩行者自転車用柵）の修繕

ガードレールの変形や陥没が発生し、転落等の危険があるため、修繕を求めます。

●歩道内石積花壇の修繕

歩道内石積花壇が多数破損し、危険であるため、修繕を求めます。

●歩道内石積花壇の除草と低木の剪定

歩道内石積花壇は草木が生い茂り、手入れされていないサルスベリの枝が歩道上にはみ出るなど、危険であるとともに、景観を損ねているため、除草と剪定の実施を求めます。

●桜の枝折れ除去・回収

現在も業者委託により桜の枝折れ回収が実施されていますが、雪の重みで枝が垂れ下がったままになっている箇所があり、利用者の安全な通行が確保されないとともに、景観を損ねているため、枝折れ除去・回収の充実を求めます。

リバーサイドロードの一層の利活用に向けた安塚区地域協議会としてのアイデア

●ウォーキング・ランニングコースとしての内容の充実

- ・ウォーキングやランニングで使用する際の見印用として、歩行距離表示を設置する。
- ・景色等を楽しみながらウォーキングやランニングができるよう、マップを作成する。
- ・フォトスポットを数箇所整備し、SNSを活用して広くPRする。

●桜や柳葉ひまわり等の魅力をいかしたイベントの開催

- ・リバーサイドロード観桜会の復活や区外の人も参加可能な周回マラソン大会等のイベントを開催する。

●市と地域が一体となって行う共助による環境整備

- ・市が行う環境整備を側面から支援するため、ボランティアの活用や各町内会の役割分担による清掃作業等の仕組みを検討する。

※上記の内容は、当協議会内で検討中のアイデアです。今後、関係団体等と連携しながら、実現に向けた検討を進めてまいります。